

十日町市

10kamachi

ぎかい
だより

CONTENTS

【特集】新たな体制でチャレンジ	2-4P
議会をPick-UP! 5月臨時会・6月定例会	4P
議案の審議結果	5P
一般質問	6-13P
永年勤続表彰	14P

秘密の場所

No.61

令和元年8月10日発行

(松代高校写真部)

新たな体制で

チャレンジ

2年ごとの役員改選により、5月14日に新たな議会体制となりました。市議会議員に「①好きな言葉や熟語または愛読書」「②選んだ理由」について質問しました。議員の「人柄」「ひととなり」「性格」「信条」などがわかるかもしれませんね。

議長就任の

あいさつ

鈴木一郎



このたび、議員の皆さま方からご推挙いただき、心より感謝申し上げます。その職務の重さに身の引き締まる思いでございます。十日町市の発展と市民生活向上のため、一生懸命務めさせていただきます。

ります。議論の場を設けて、説明不足や誤解が生じないようにし、公平公正に筋の通った議会運営を心がけてまいります。二、行政当局におかれましては、丁寧でタイムリーな議会説明をお願いします。三、後継者不足が深刻な十日町市の文化や伝統、技術を伝承する議会提案の条例制定を目指して、議員の皆さま方のお力添えをいただきながら、丁寧に取り組んでまいりますと考えています。

議会役員改選で副議長に選任されました。賜った信頼に深く感謝申し上げます。鈴木一郎議長を補佐し、広大な市域と雪国の歴史と文化を尊重し、十日町市と十日町市政の発展のため、また十日町市議会の活性化のため、微力ですが全力を尽くします。

副議長就任の

あいさつ

吉村重敏



総務文教常任委員会



委員長 小林正夫

①お蔭さま②これまでのお力添えやご支援に感謝し、これからの未来に向けた活動を続けたい。地域や自然がさらに輝ける明日のために「お蔭さま」の心を込めて。



副委員長 村山達也

①我以外皆我師②自分以外の人も動植物でも皆自分に何かを教えてくれる。つい忘れがちだが、常に「学ぶ気持ち」と「謙虚」を持つていたい。



安寿隆

①知は力②知とは単なる知識ではなく、学ぶということである。人々が残した遺産を学ぶことは楽しい。



小林弘樹

①「日本国記」百田尚樹著②ネット番組「虎ノ門ニュース」を通じて、出会った本です。どちらも多くの人に紹介したい情報媒体です。



藤巻誠

①非凡なる凡人②国木田独歩の短編小説名だがストンと心に残る。青年期は「義を見てせざるは勇無きなり」に心酔。市議としては「和して同せず」が座右の銘。



吉村重敏

①虚心平気②55歳、困難で中村天風を学んだ。人生は心ひとつの置き所、積極一貫、感謝と歓喜のみと言う。虚心平気を無垢万能と信念し天風哲学を体得したい。



大嶋由紀子

①ありがたいの花束②大好きな言葉ありがとうは、言われて嬉しい言葉一位です。五文字で感謝の気持ちを伝えることが出来ます。自分も相手も幸せに出来るありがとうをたくさん言いたいな。



富井高志

①「嫌われる勇氣」アルフレッド・アドラー著②アドラーの言葉失敗からこそ学べる」を大切にしています。失敗をする勇氣、誤っていることを明らかにされる勇氣を持ちたいと思っています。

厚生常任委員会



副委員長 高橋 俊一

①みんなが輝くまちに
②そんな「まち」であってほしい、と思い議員を目指した言葉です。実現のため頑張ります。

①勇気一生②一〇二秒チヤンスは必ずあるものだ。勇気をもって、つかめば、道は開かれる。



委員長 庭野 政義



鈴木 和雄

①希望②どこに住んでいても、どんな環境にあっても一人一人が大切にされる社会であってほしい。ふる里を想い、希望を抱いて暮らせる「まち」づくりを目指します。



宮沢 幸子

①桜梅桃李②桜も梅も桃も李も花の香りや形が違いますが、それぞれ独自の花を咲かせます。他人と自分を比べることなく「自分らしく」生きていきたいです。



太田 祐子

①一期一会②ただ一度きりの出会いではなく、その一度が大切な経験であり、その出会い一つ一つを大事に誠意を尽くすことが座右の銘です。



星名 大輔

①令和②新しい時代です。厳しい冬を乗り越えて咲き誇る花のように、一人一人の市民がそれぞれの花を大きく咲かせることができる十日町市にしたい！

①動静②情報をしっかりと集めて判断し、行動に移したいと思っています。名前の静も入れた言葉にしました。



水落 静子

①安心安全②選ばれて住み継がれるまちとおかまち。十日町に住んで良かった、そんな素敵なまちを、市民の皆さんとともにつくっていききたい。



山口 康司

産業建設常任委員会



副委員長 福崎 哲也

①無②無から有を生じ繁栄を思う。

①全力で挑戦②何事にも市民の目線に立ち、寄り添って物事に取り組んで行く。挑戦者！



委員長 遠田 延雄



小林 均

①夢②目標を持って前に進むこと、一人だけでは夢は叶えられません。さまざまな方々との協力が不可欠です。そして皆で喜びを分かち合う。

①素直②歳を重ね改めて「自然体」を意識しています。一番大事な「自然と人々」に対し、素直が一番。現実には、いま出来る事を、素直に！言動します。



樋口 利明

①夢づくり、人づくり、地域づくり②政治信条。「夢」無き地域に人は育たず「人」育てざるんば「地域も産業」も育たず。全ては夢をもつ人の育成にあり。



小野嶋 哲雄



議長 鈴木 一郎

①信無不立②人間が人として生きて行くに、一番大切な事だと思ふから。
※議長は委員会に属していません。

①有言実行②「言ったことは責任を持って実行する」この信念があるからこそ、物事に対して真摯に向き合い目標に向かって一歩一歩進んでいくことができるから。



根津 年夫

①雲外蒼天②困難を乗り越えて努力して克服すれば快い青空が望める。



滝沢 繁

議会運営委員会

委員長 小林弘樹
副委員長 藤巻 誠
委員 福崎 哲也
村山 達也
遠田 延雄
樋口 利明
安保 寿隆
庭野 政義

十日町地域広域事務組合議会議員

(議長を含めて10人)
水落 静子 滝沢 繁
山口 康司 大嶋由紀子
村山 達也 吉村重敏
鈴木和雄 小林正夫
太田 祐子 鈴木 一郎
※ほかに津南町から3人

津南地域衛生施設組合議会議員

(議長を含めて3人)
滝沢 繁 鈴木和雄
鈴木 一郎
※ほかに津南町、栄村から各2人



略称は「ぎょうん」
議会の要! 議会運営委員会
議会の日程や請願の取り扱い、議会のルールなどを協議する「ぎょうん」。各会派から選出された議員で構成します。



● 議会をPick-Up!

5月臨時会

令和元年第1回臨時会
会期 5月14日(1日間)
審議結果は次のページに掲載

選挙 正副議長 投票

所信表明を聴いて投票

議長と副議長は、議員24名の投票によって本会議で決まります。今回は、選挙前日の正午までに推薦のあった議員が本会議前に所信表明を行います。

【投票結果】
議長選挙

鈴木一郎議員	19票
安保寿隆議員	3票
無効	2票

副議長選挙

吉村重敏議員	15票
小林正夫議員	4票
鈴木和雄議員	3票
無効	2票

● 議会をPick-Up!

6月定例会

令和元年第2回定例会
会期 6月14～24日(11日間)
審議結果は次のページに掲載

情報館 撤回 総文

十日町情報館条例の一部を改正する条例制定(案)

3月定例会で継続審査となった情報館諸室の閉館時刻を早める条例改正案は、市長から撤回の請求があり、撤回に委員会、本会議とも全員賛成でした。

た。撤回理由は、委員会での施設の利用向上を図るべきとの意見が多数あり、改めて施設利用のあり方、経費節減について検討するためです。

請願 採択 意見書提出

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択を求める請願

請願者・新潟県教職員組合 級規模を30人以下とする
合魚沼支部 執行委員 こと。また、義務教育費
長・澤田義則氏 国庫負担制度を堅持すること。

【意見書の趣旨】
子どもたちの教育水準の維持・向上のために、教職員定数の計画的な改善を行い、小中学校の学

提出先…内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、内閣官房長官

出生祝金 修正可決 厚生

十日町市出生祝金支給に関する条例を廃止する条例制定(案)

3月定例会で継続審査となった出生祝金を廃止する条例案は、厚生常任委員会において、条例廃止日を市長が提案した1年後の令和2年4月1日とすることで修正し、可決されました。

委員会の審査の過程を踏まえて太田祐子委員が提出した修正案は、今後も第1子から安心して子育てができる環境づくりを推進するために、総合的な観点から本条例を廃止するとした市長提案に賛成し、条例の廃止日を市長の提案から1年間先送りしたものです。さらなる子育て支援策の充実に期待も込められた修正案は、本会議でも全員賛成により可決されました。

5月臨時会議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	48 専決処分の承認（十日町市税条例等の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	49 専決処分の承認（十日町市都市計画税条例の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	50 専決処分の承認（十日町市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	—	全員賛成	承認
	51 固定資産評価員（佐藤 晃 氏）の選任	—	全員賛成	同意
議会提出議案	3 議会常任委員会委員長及び副委員長の選任報告	—	—	報告
	4 議会運営委員会委員長及び副委員長の選任報告	—	—	報告
	5 十日町地域広域事務組合議会議員の選挙	—	—	選挙
	6 津南地域衛生施設組合議会議員の選挙	—	—	選挙
	7 議長の辞職許可	—	—	許可
	8 議長選挙	—	—	選挙
	9 副議長選挙	—	—	選挙

6月定例会議決結果

議案番号等	件名	付託委員会	採決状況	議決結果
市長提出議案	8 十日町情報館条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	撤回
	21 十日町市出生祝金支給に関する条例を廃止する条例制定	厚生	全員賛成	修正可決
	52 人権擁護委員候補者（久保田 均 氏）の推薦	—	全員賛成	原案可決
	53 人権擁護委員候補者（太田 穠子 氏）の推薦	—	全員賛成	原案可決
	54 人権擁護委員候補者（高津 則子 氏）の推薦	—	全員賛成	原案可決
	55 人権擁護委員候補者（南雲 市郎 氏）の推薦	—	全員賛成	原案可決
	56 十日町市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例制定	総務文教	全員賛成	原案可決
	57 十日町市企業設置奨励条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	58 十日町市企業投資促進条例の一部を改正する条例制定	産業建設	全員賛成	原案可決
	59 十日町市介護保険条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	60 十日町市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	61 十日町市児童センター条例制定	厚生	全員賛成	原案可決
	62 令和元年度十日町市一般会計補正予算（第1号）	—	賛成多数	原案可決
	63 令和元年度十日町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	64 令和元年度十日町市国民健康保険診療所特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	65 令和元年度十日町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	66 令和元年度十日町市介護保険特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	67 令和元年度十日町市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	68 令和元年度十日町市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
	69 令和元年度十日町市水道事業会計補正予算（第1号）	—	全員賛成	原案可決
70 令和元年度十日町市一般会計補正予算（第2号）	—	全員賛成	原案可決	
請願	1 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択を求める請願	総務文教	全員賛成	採択
議会提出議案	10 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	—	全員賛成	原案可決
	11 新たな過疎対策法の制定に関する意見書	—	全員賛成	原案可決
	12 新潟県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	—	—	選挙
	13 議員派遣（広島市原爆死没者慰霊式・平和記念式典、中越地区市議会合同議員研修会ほか）	—	全員賛成	原案可決

議案の審議結果

今回も
じっくり審議
しました!



賛否等の状況

賛否が分かれた議案のうち、起立採決等により個々の賛否が明らかな議案について掲載。（○：賛成、×：反対、—：欠席）
※鈴木一郎議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号等	議決結果	賛成（起立）	反対（着席）	礎				自由の風				だいち				日本共産党 十日町市議団		さくら		三矢会		鈴木一郎				
				小林弘樹	福崎哲也	富井高志	宮沢幸子	水落静子	藤巻誠	山口康司	根津年夫	庭野政義	吉村重敏	樋口利明	小林正夫	小野嶋哲雄	太田祐子	安保寿隆	鈴木和雄	滝沢繁	遠田延雄		高橋俊一	大嶋由紀子	村山達也	小林均
62	原案可決	19	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×	○	※



学区統合や学校閉校を回避策、人口増加策などを伺う

村山 達也 議員



質問 松代地域から統合反対の署名と要望書が提出されたが見解を。

答弁 地域の皆さんの本当に不安な声、思いはよく伝わりました。教育委員会としては、しっかりとご説明申し上げ、少しでも理解いただければ大変ありがたいと、そんな思っています。

市長部局としては、教育委員会が判断に至った経緯を理解しつつ、市民への説明は、しっかりと連携していかなければならないと思っています。

質問 支所地域を中心部とした時の周辺部の皆さまの「生活交通がなくなってしまう」との不安が非常に大きい。

答弁 生活交通の確保については、いろんな角度で検討しています。市営バス、路線バス、デマンド交通など、いろんな組み合わせがありますが、市内全体を見渡しながら、学区の統合問題と合わせて、しっかりと対応していきたいと考えています。

質問 ①「1学年2学級」となるような、うれしい状況に好転した場合、統合は見送られるか。②市長をはじめ、市の職員の皆さんは人口増加対策を推進していただいているが、統合は回避できないか。③「地域の皆さんの賛同が得られるまでは10年経過しても統合

を進めないこと」を確認したい。

答弁 ①1学年2学級以上があれば、統合にはならないと思います。②この地域で子育てしたいという方が増えていることは事実ですが、人口減少に歯止めを打つことはまだできていません。10年後、さらに30年後、どういう教育システムをこの地域に持つべきか、というあたりに目線を置いて、いろんな制度設計、議論をしていかなければいけないと思っています。③10年前の第1次方針で統合計画があった小学校でも、今も存続しているところもあり、同じ考え方です。



自然に恵まれ最良の学習環境の中学校 (松代中)



十日町市立小・中学校の望ましい学区について伺う

山口 康司 議員



質問 教育委員会から学区適正化再編の方針が出されました。①小学校統合再編は、もっと時間をかけてほしい。地域によっては検討する課題が違ってきます。②学校の借地料支払いは大きな問題だと思います。③今後改革案等を検討していただき、中学校再編は数合わせと言われぬよう、市民に情報を開示し、時間をかけて地域住民、PTA、保護者等、市民目線で話し合い、丁寧に説明会を進めていただきたい。

答弁 ①小学校については、10年前の第1次方針から挙がっている学校で、これまでも十分議論していただいた部分もあり、令和3年、4年という目標にさせていただきました。中学校は、今回初めて提案させていただきましたが、相当規模の統合ということで、地域の皆さんの不安の声も聞く中、5年後では地域の皆さんの十分な議論ができないのではないか、ということから、10年後を目標にしながら統合再編を進め、その間にしっかりと地域の皆さんに寄り添い、耳を傾けながら前に進んでいきたいと考えています。②目的を終えたところは、解体してお返しする方針です。しっかりと問題意識を持つて削減に努めたいと思います。学校以

外も含め、遊休施設の借地返還を優先し、利活用が想定される公共施設は、地権者の意向を伺いながら、財産取得についても検討していきます。③学校運営は、地域の応援なしではうまくいかないのが現実です。それぞれの地域で、地域の背景や各組織の構成、課題の違いがあると思いますので、地域の皆さんの声をしっかりと聞きながら、理解いただけるよう丁寧に分かりやすく、回数も十分確保するよう考慮し、進めさせていただきます。最終的には地域の皆さんの合意をいただいている再編となります。



校庭に響く子どもたちの声は地域の応援歌 (川西中)

国家試験合格のために必要となる環境について、看護学校卒業者に聞くと、近くに休日や夜間に利用できるフリースペースや図書館があり、参考図書の実が大きな助けになるとい

う。国家試験合格のために必要となる環境について、看護学校卒業者に聞くと、近くに休日や夜間に利用できるフリースペースや図書館があり、参考図書の実が大きな助けになるとい

う。国家試験合格のために必要となる環境について、看護学校卒業者に聞くと、近くに休日や夜間に利用できるフリースペースや図書館があり、参考図書の実が大きな助けになるとい



入学者募集中!

また、魚沼圏域では、看護師確保の取り組みを現場の職員が定期的に議論しています。開校を間近に控え、看護学校との連携を視野に入れた取り組みも検討する予定です。

また、魚沼圏域では、看護師確保の取り組みを現場の職員が定期的に議論しています。開校を間近に控え、看護学校との連携を視野に入れた取り組みも検討する予定です。

は地域医療・介護・福祉の諸問題に対応する重要な施設です。運営協議会の協議内容と、国保川西診療所から移転後の川西診療所について伺います。

は地域医療・介護・福祉の諸問題に対応する重要な施設です。運営協議会の協議内容と、国保川西診療所から移転後の川西診療所について伺います。

は地域医療・介護・福祉の諸問題に対応する重要な施設です。運営協議会の協議内容と、国保川西診療所から移転後の川西診療所について伺います。



刻々と進む「医療福祉総合センター」の工事現場



県立十日町看護専門学校について

星名 大輔 議員



は地域医療・介護・福祉の諸問題に対応する重要な施設です。運営協議会の協議内容と、国保川西診療所から移転後の川西診療所について伺います。

は地域医療・介護・福祉の諸問題に対応する重要な施設です。運営協議会の協議内容と、国保川西診療所から移転後の川西診療所について伺います。

は地域医療・介護・福祉の諸問題に対応する重要な施設です。運営協議会の協議内容と、国保川西診療所から移転後の川西診療所について伺います。



中条第二病院棟閉鎖後の対応と医療福祉総合センター

太田 祐子 議員



は地域医療・介護・福祉の諸問題に対応する重要な施設です。運営協議会の協議内容と、国保川西診療所から移転後の川西診療所について伺います。

は地域医療・介護・福祉の諸問題に対応する重要な施設です。運営協議会の協議内容と、国保川西診療所から移転後の川西診療所について伺います。

は地域医療・介護・福祉の諸問題に対応する重要な施設です。運営協議会の協議内容と、国保川西診療所から移転後の川西診療所について伺います。



刻々と進む「医療福祉総合センター」の工事現場



原発ゼロ、再生可能エネルギーへの転換、学区再編について

滝沢 繁 議員



質問 再生可能エネルギー転換こそ今後の希望。①市の目標設定30%の目玉、宮中発電所計画の現在の到達と問題点は。②橋詰、桔梗原小水力発電事業の実現性は。③3つの検証なしで原発再稼働はないというのが市長の認識は。④ヨウ素剤の保管で放射性物質が漂う中、職員が取りに行つて配布するのか。⑤原発事故対応の専門職員配置の考えは。

答弁 ①河川流況のシミュレーション結果を基に調整、検討を進めています。優先すべき課題は維持流量の確保、良好な河川環境の形成です。発電設備形態、運転方法についてJR東日本と協議を継続し、水利権の取扱いも関係機関と協議を重ねています。また、魚道のメンテナンス期間でも魚類の遡上、降下ができる方策を多方面から検討しています。

②橋詰地区は、現時点での事業化は難しく、桔梗原地区は、採算性に課題があります。③各委員会の動向を注視し、市町村による原子力安全対策に関する研究会を通じて、県に原子力政策に関する要望等を伝えたいと考えています。④安定ヨウ素剤は保健所にありますが、子どもたちに関しては現在、避難計画

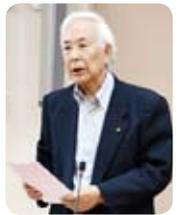
を作っていますし、保管、管理についても進めています。配布については、県が作る計画に合わせて、市の計画も作りたいと思います。⑤当市の専門性を高める方針で向かわなければならぬと思いますので、県やほかの自治体等と皆さんと共に検討したいと思っています。

質問 松代中学校の再編で地元から異議、通学時間など問題が多い。
答弁 通学は、各市営バスとスクールバスの併用で片道平均35分、最長55分程度、冬期間は、もう少し時間がかかると予想しています。子どもたちの負担を軽減する方法をさらに検討します。

地方自治体に問われること

- (1)自治体職員の自律的判断の重要性
ヨウ素剤の配服用の自治体における差異の検証
三春町は服用を呼びかけ、富岡・双葉・楢葉は配布のみ
大熊・浪江は配備したが国から指示なく配布のみ
広野・川内は配布せず、いわき市は配布し服用指示出さず
- (2)リアルタイムで最善な選択を行うこと—福島を検証必要
指示待ちでない判断力・決断力が験される
- (3)普段から住民と自治体職員の結びつきが必要
柔軟な態度・多様性の尊重・分権意識(自分たちで決める)

池内 了(さとる)氏、新潟県原子力発電所事故に関する検証統括委員会委員長の講演会資料から、滝沢繁議員作成



介護職場における待遇改善を市道用地買収に係る市の対応

安寿隆 議員



質問 ①市内の特養施設のベッド数と待機者数は何人か。市外の介護施設への入所者は何人か。②介護職の人手不足は焦眉の重要課題。柏崎市では夜勤一回当たり1,400円、総額5、110万円の補助をしている。十日町市も助成制度を作れないか。

答弁 ①現時点の市内特養定員673床は満床です。要介護3以上の在宅待機者数は、H30年度比で66人増の382人です。今年4月時点での市外施設入所者数は、317人となっています。②市では妻有地域包括ケア研究会と介護現場のあらゆる課題を情報共有しており、引き続き研究会のご意見を伺い、事業所等への訪問等を繰り返しながら、人材確保における実効性のある支援を考えてまいります。法人から経営状態等をお聞きする中で、どうすれば職員の確保や離職を少なくすることができかねるかなど、必要とあればどういう支援ができるのかについて柔軟に考えていきたいと思っています。

質問 市民から市道用地買収の対応について厳しい批判が寄せられている。市は小作者に何の説明もなく、了解のないまま土地所有者と買収契約を済ませた。民事訴訟に発展し、小作者が勝

訴した。にもかかわらず市は小作者と直接協議していない。積極的、前向きな対応をすべきでなかったか。
答弁 賃貸借の権利関係が明確化しておらず、両者間でしか整理し得ない問題と認識し、当時は市が関与する考えはありませんでした。合意までが非常に長期化してしまつたことは、大変遺憾に思いますし、より良い対応に向けた合意形成に努める余地、反省すべき点があつたと受け止めており、今後は、そうしたことをしっかりと生かして、課題解決に向かいたいと思います。

●市外の介護施設等利用状況(人)

年月	特養	老健	介護療養型医療施設	介護付有料老人ホーム	合計
H26.7	28	47	6	81	162
H28.7	37	50	11	127	225
H29.12	110	71	9	127	317
H31.4	47	69	12	126	254

(安寿隆議員作成)



子どもたちへの防犯対策と東
京五輪・パラに向けた取組み

根津 年夫 議員



質問 子どもたちを犯罪や事件から守るための防犯対策について①学校、警察、行政との情報共有と連携強化。②通学路の点検と環境の整備・改善への取組みと現状。③多様な担い手による見守りの活性化について

答弁 ①中魚・十日町地区小・中学校警察等連絡協議会を通じて情報共有しています。不審者情報は、学区保護者にはメールで、市内全学校にはFAXで注意喚起をしています。②点検は毎年行っており、危険箇所は緊急度をランクづけした上で、市通学路交通安全推進会議で協議し、管轄部署に改善修繕を求めるとともに、周知に努めています。③見守り隊、安全パトロールなど、登下校に付き添う体制や子どもが避難する家を明示している学校もあります。下校時に地域の方が散歩や買い物時間を合わせ

るなど、さまざまなアイデアを出して対応しています。
質問 2020東京五輪・パラに向けての取組みについて①国宝火焰型土器の聖火台への取組み②クロアチアの事前キャンプ受け入れとスポーツを通じた地域活



性化の取組みについて

答弁 ①聖火リレーのルートに当市が選定され、大きな弾みになると期待しています。文化庁の補助事業を活用した事業にも取り組み、新博物館を拠点に国宝の活用、縄文文化の発信をしつかりと継続したいと思えます。②青少年の教育効果と国際感覚の醸成、地域の活性化という目的で取り組んでいます。また、交流の機会を積極的に取り入れ、次世代のオリンピックアンの輩出、国際感覚を育むきっかけになると期待しています。クロアチアピッチなど地域の特性を生かした施設を県内外に発信し、合宿やイベントを誘致し、交流人口増加、国際交流促進など、スポーツを通じた地域活性化に邁進します。



ひきこもりの実態と学習指導
要領改訂に向けた現状

高橋 俊一 議員



質問 3月に内閣府から発表されたひきこもりに関する40歳から64歳へのアンケート結果を踏まえ、5年前から福祉課が担っているひきこもりの現状と今後の対策を伺う。

答弁 当市では内閣府の調査より高齢者の割合は高くなく、再雇用や地域行事など、退職後も家族以外と交流する機会が比較的多い地域柄があるのではないかと考えています。30代、40代の割合が高いことから、本人の適正に合わせた就職の相談体制の充実に努めたいと考えます。社会に出ることができ就労に結びつくことは、地道で大変なことですが、行政もしっかりと関与し、市民の皆さんの理解をいただき、社会全体で取り組むという思いになつていただきたいと思います。

質問 これまで段階的に進めてきた小学校における英語教育の実情と、「主体的、対話的で深い学び」の状況、また、指導要領改訂により、さらに多忙化が進みそうな教員への対応を伺う。
答弁 各学校で校時表や年間計画を再検討しており、英語学習の充実に向けて着実に準備を進めています。市は英語教育推進員や外国人A.L.Tを効果的に配置し、県からは英語専科教員を配



ひきこもり当事者の居場所「ねころんだ」

置いただくなど、外国語授業の充実を進めています。各学校では、主体的、対話的で深い学びの具現化に向け、授業改善と検証を重ねている段階であり、市は情報や研修の場の提供、学校訪問を通して指導、助言をしています。個々の力や特徴を丁寧に把握し、意見を交流させながら主体的に学ぶ授業の追求のため、実践を積み重ねていく考えです。各校で教員が研究、研修する時間などを生み出す取組みが行われるなど、新しい指導要領への対応と教員の多忙化に対する取組みを同時に進めていきたいと考えています。



安全な雪像づくり・十日町市 児童センターについて

大嶋由紀子 議員



質問 雪像づくりにおいて、二度と悲しい事故を起こさないための対策・対応について伺います。

答弁 さつぼろ雪まつりの市民雪像制作ガイドなどを参考とします。当市の雪像のつくり方や、さまざまなデザインを考慮した雪像制作の安全管理、また会期中の雪像管理等について検討し、事前に周知をしたいと思えます。

質問 児童センターは、ただの遊び場の提供ではありません。子育てを支え合う温かな輪を広げ、大人も子どもも成長し合えるセンターになるように願っています。少子化対策で今一つ前向きにできることとすれば、今子どもを育てているパパ・ママが笑顔で子育てができて、それを見ている人たちが私もそんな風に子どもを授かりたいな、結婚したいな、子どもを産みたいなと思える、そのような十日町市にすることが一番だと思います。市長の考えを聞かせてください。

答弁 児童センターが果たすべき子育て支援は、一言で言えば子育て環境の充実です。子どもたちが一年を通じて安心して伸び伸びと遊ぶことによって、それを見守る保護者もさまざまな情報交換を行って、楽しく子育てしていた

だけになるなど、子育て環境を整う中で、少子化対策にも大きく寄与するものと期待しています。

子育ては、いろんな方の力を借りることで苦しいことを緩和してあげる必要があると思います。また、子育ての知恵を次の世代に伝えていくことや同じ子育て世代でつながっていく必要もあると思います。児童センターには会議室等もあり、保護者や世代間交流に使っていただくことも可能です。

さまざまな施策を重層的に行い、安心して子どもを産み育てたいと思えるような地域にしたいと考えています。



8月21日オープンの児童センター「めごろんど」



大地の芸術祭と議会だよりの 市民の皆さまの声について

富井高志 議員



質問 大地の芸術祭について①次回展に向けての方向性と課題は。②通年誘客への取組みは。③越後妻有地域への経済効果をさらに上げられないか。

答弁 ①既存の施設や作品の活用方法の再構築、維持困難な作品の整理を進める必要があると考えます。また、より海外を意識した情報発信や、民間企業や住民も含めたインバウンドへの受け入れ態勢の充実が重要となります。

課題を一つずつ解決し、経済効果の波及や定住人口増加などの地域活性化につながる取組みとするために準備を進めます。②H28年から実施している四季プログラムでは、今春、過去最高の入り込み客数となり、夏以降も充実したプログラムで誘客を図ります。通年ツアーでは、越後湯沢駅発着のツアーバス試験運行利用者の約8割が初来訪で、新たな顧客の開拓を期待しています。

情報発信の強化では、公式サイトをリニューアルし、スマートフォン対応や多言語化を実施予定です。③多くの方から何度も訪れていただき、長く滞在して、楽しんでもらうことが肝要と

考えます。通年誘客の取組みの強化、促進を図ります。駅西の一部エリアの用途変更等、宿泊業の方々が活躍できるように準備を進めています。農家民宿などの情報も合わせて発信し、地域全体の総力戦で来訪者をお迎えし、長く滞在していただけるシステムをつくりたいです。

質問 議会だより60号での市民の皆さまの声をどのように受け止めたのか。

答弁 市民の皆さんの声の多くが、身近な道路や流雪溝の整備・除雪に関するもの、農業をはじめとした産業・雇用に關するもの、高齢者や子どもたちが安全・安心な生活ができるようにという福祉・医療・子育てに関するものなどであり、今後の市政運営に反映させたいと考えています。



議会だより60号



資源を生かした「関係人口」 拡大策でさらなる活性化策は

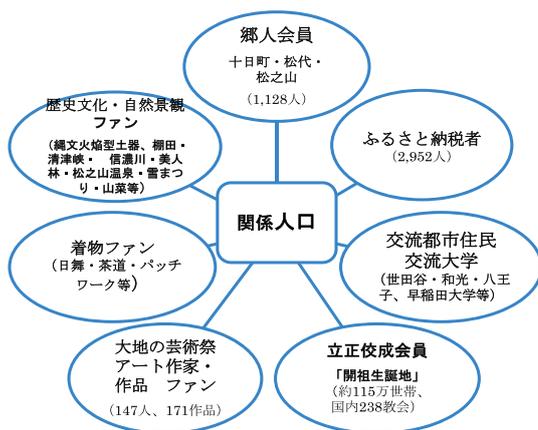
小野嶋 哲雄 議員



質問 国は第2期のまち・ひと・しごと創生基本方針案を発表。東京圏一極集中の是正を「最重要課題」として国レベルで「関係人口」を初めて位置付け、地方への支援策が検討されている。自然資源を最大限活用した関係人口の拡大施策に取り組み当市にとっては大きな力でありメリットです。①当市の関係人口に係る資源についての認識は。②今後のさらなる関係人口拡大施策についての考えは。また、郷人会員数、ふるさと納税者数・納税額の実績は。

答弁 ①概念としての「関係人口」が提唱される以前から、十日町ファン、応援団の皆さんとの関係構築に力を入れてきました。当市に居住していませんが、当市のことを思い応援してくださる方々との関係が、これからのまちづくりにとって重要になると考え、その絆を大切に育んできました。資源という言葉ではなく、かけがえのない「財産」として、より一層、絆を深めたいと考えています。②ふるさと納税メニューに、市内NPOや地域自治組織を追加するとともに、感謝の意を表するため、市褒賞制度にふるさと功労を設けました。そのほか、グリーンライナーの運行やフレンドシップ事業による交流の促進、首都圏企業やプロモーション大使との交流、市報の送付や観光、地域イベントや特産品の紹介など、さまざまな施策に取り組みできました。今後策定する第2期総合戦略に関係人口に関する施策を明記し、さらなる関係人口拡大に取り組みます。郷人会は、東京十日町会が300名、東京松代会が427名、東京松之山会が401名となっています。H30年度、2,952名の方から1億3,800万円ほどのふるさと納税をいただいています。前年が740名で5,900万円ほどです。ですので、大きく伸びているところです。

関係人口の構成要素



(小野嶋哲雄議員作成)



財政緊縮化における政策決定及び 予算編成のあり方について

小林 均 議員



質問 ①今回の補正で、紙おむつ燃料化事業補助金額が1億円減少したプロセスを伺います。②H31年度当初予算の決定について、市民の反応をどのように受け止めていますか。③政策決定のプロセスは優先順位をもって、主に民生費、教育費、衛生費、エネルギー政策費に優先的に配分されましたが、今後の政策的順位をどのように考えていくか伺います。

答弁 ①この補助金は、資源エネルギー庁のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金で、補助率は10分の10、上限額は当市で2億円ですが、国の予算額に対して全国の自治体からの要望額が大幅に上回り、内示額が1億円になったと聞いています。②今回、予算を各課から積み上げている段階で議会にお示ししたことは、当市としても異例です。自治体の予算編成過程においても大変異例なやり方をさせていただきました。そうした中、市民にもいろんなご意見があったとお聞きし、非常にありがたく思っています。賛成、反対の意見両方を聞いていますが、大きな混乱ということはないのでないかと考えています。③これまで民生費、教育費等のシーリング率を低めに設定していましたが、査定段階では、民生費も教育費も聖域として扱っていません。今後についても、持続可能な財政運営の下、総合計画に掲げたまちづくりの理念を実現するためには、単に事業を削減するだけでなく、真に必要な事業に財源を投下する必要があります。新たな課題への対応や住民ニーズにこたえるために、全ての分野において形骸化した事業等の断捨離を進め、身の丈の財源に合わせたスクラップ・アンド・ビルドという方針を引き続き徹底していきたいと考えています。

●H30.11.6(火) 全員協議会資料

平成31年度予算編成方針について

キーワードは

①持続可能な、持続確実な財政運営
②歳入に見合った歳出、“身の丈”

平成30年11月6日 全員協議会
総務部 財政課



第2次学区再編と社会教育・公民館のあり方を問う

藤巻 誠議員



質問 第2次小・中学校学区適正化について①上位計画の合併協定と第2次総合計画との整合性。②答申に当たり、小学校は複式の解消、中学校は1学年2学級以上としたこと、松之山学区を除外した根拠。③各中学校区で培ってきた血のじむ努力をどう評価したのか。④教育委員間の意見が分かれています。市民合意が取り付けられるのか。

答弁 ①合併協定では、児童生徒数の推移や地理的条件に合わせ再編成を検討するとあり、総合計画では、学校の小規模化や複式化が進む現状から規模の適正化が課題とされ、方針にも示されています。②検討委員会の審議の中から基本的な考え方をまとめ盛り込みました。松之山は、小中一貫校がスタート間もないことや地理的条件に配慮し、今回は再編の対象外としました。③これまでの統合も、子どもたちの望ましい教育環境を整えたいという、熱心な思いやご努力があり、多くの方の協力で成し得たと考えています。先人の思いを受け継ぎ、今回の再編方針をお示ししました。④地域の皆さんの声をしっかりと聞き、丁寧に説明し、ご理解、ご同意をいただけるよう努めます。

質問 社会教育・公民館のあり方を2

●旧市町村別小学校1学年児童数推移 令和元年度～7年度（令和元年5月1日現在）

単位：人

	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年
十日町	272	273	269	249	232	198	229
川西	43	34	35	39	29	21	29
中里	39	33	34	37	34	25	28
松代	15	12	10	15	17	10	6
松之山	6	9	7	7	6	2	4
計	375	361	355	347	318	256	296

(藤巻誠議員作成)

年間検討するとあるが、①体制・検討項目・スケジュールと民意の反映は。②公民館設置70周年事業の計画と予算は。
答弁 ①地域と公民館の関係や使用料の見直し等を検討し、関係する団体で体制を協議したいと考えています。7月末までに現状をまとめ、秋の市民アンケートなどを基に、来年夏に提言書をいただき、制度改正につなげたいと考えます。②地域と連携した事例発表と郷土芸能保存団体の発表会、前回の記念事業以降の活動冊子を発行します。金額を精査し、補正予算も含めて考えます。



農業と観光の連携から、農家民宿の市民への推進について

水落 静子議員



質問 当地域は、縄文文化や大地の芸術祭など魅力ある資源が豊富です。この資源を、宿泊客の獲得に結びつけていくために、農家民宿と観光の連携の考えがあるか。

答弁 農家民宿は、農業体験が必須となっており、農業体験は、農作業だけでなく自然体験、自然観察など多岐に渡っています。市内の魅力ある観光資源と農業体験などを組み合わせること、訪れる方が増加し宿泊していただけます。新たな農家民宿などの開業を目指す方がいれば、しっかりとご支援します。

質問 農家民宿を起業する場合、総合窓口は県の十日町地域振興局、建築基準法は南魚沼地域振興局など多くの行政機関に向かなくてはなりません。市では、全体的に相談に乗っていただけるのか。また、開業を推進するために、広く市民に、農家民宿の勉強会を開催するなどの考えはあるのか伺います。
答弁 現在、農家民宿に関する情報提供、説明会の開催については、農家民宿及び民泊に取り組んでいただける方への支援の一環で、民間事業者に委託して実施しています。観光交流課に声をかけていただければその業者を紹介



農家民宿「KOME HOME」（太田島）

いたします。将来的には観光交流課で、こうした手続きはこの機関へ、というお話ができる体制をとろうと思っております。
平成29年度に農家民宿や民泊推進のために、それに興味を持っていらっしゃるヒアリングを行いました。その中の賛同者を中心に具体的な相談や説明会の開催をしています。その結果、平成20年に7軒であった農家民宿は、平成30年度末には25軒となりました。今後は、開業後における観光や体験メニューなどの情報交換ができる場も設けていきたいと考えています。



地域の産学民を合体させ、
全市と地域を再活性しよう！

樋口利明 議員



質問 ①学区再編と地域振興を一体とする具体策を、地域の希望を基にして行政と議会の力も合体させ、新たに市民と地域と共につくるべきだ。②宮中の維持流量発電事業を推進するため、適時に広く市民の関心と力を結集させ、市民の理解と協力を増幅させたい。③今年、国宝指定20年と日本博事業を機に、新博物館完成に引き続き、笹山遺跡とその周辺における自然・縄文・体験交流事業の本格化を！

答弁 ①コミュニティ・スクールでは地域の方から学校運営協議会委員として加わっていただいております。学校と地域が一体となつて、社会総がかりで子どもたちを育てる体制の構築を推進しているところですので。こうした組織なども活用しつつ、地域全体で地域振興の取組みを進めていきます。②信濃川によみがえつた水を有効に活用したいという思いから始めた事業です。これは、地域の皆さんのまさに民意であると捉えています。これまでも信濃川、清津川の水問題の際には、市民並びに議員の皆さんとともに取り組んできました。宮中水力発電においても、機会を捉えて、市民の皆さん、議員の皆さんにしっかりと説明するとともに、ご理解や

ご協力をいただきながら、慎重かつ着実に進めたいと考えています。③縄文人の生活を体験できるような空間に何とか整備できないものかという思いがあり、今回、文化庁の補助事業に採択いただいたことで、非常に前向きに進むことができると思います。良質な縄文ライフを経験できるような事業は、ぜひやるべきだと思っております。この補助事業をしつかり活用して、実際にいろんな投資ができるわけです。追い風を捉えて、魅力発信の大きな基地にしていきたいと思っております。



笹山縄文市の風景

質問 市長は、ひと、金を取り戻すことを標榜していますが、人口減少しても、なお、そこで暮らしが営まれている地域にこそ心血を注ぐべきではないか。

答弁 ふれあいトークでは、10世帯未満や非常に少ないところにお邪魔して、皆さんがどうありたいかというお話しを真剣に聞いています。集落機能がなくなったから住まないという決断をされる集落も幾つかはあるだろうと思っております。ただ、うちの集落は頑張るんだ、まだまだできるんだというご意見のところもたくさんあります。そういうところもしつかり応援しなければと思います。いろんな要望があり、そこにできるだけ寄り添う中で、それぞれの集落にはその方向を決めていただくしかないと思っております。

質問 合併による普通交付税の算定見直しはH26年度から始まり、H30年度決算までに支所経費を含め45・3億円が交付されている。今後も交付が見込まれるが、この財源を有効活用して支所機能を強化できないか。

答弁 当市のように広域な自治体では、支所は維持する必要があると決断しました。当初に国が想定していたほど合



財源を有効活用して、
各分野・地域の担い手育成を

鈴木和雄 議員



併で効率化は進んでいません。交付税のあるべき姿については、支所などの維持経費はかかるということを国から理解をいただいております。交付税の減る金額が減つたということで、増加ではないことをご理解いただきたいと思います。地域の課題は、支所を中心に解決していくのが当面はベストではないかと考えています。地域おこし協力隊、地域支援員の円滑な活動には、地域振興の拠点である支所の役割が大きいと思っております。支所勤務職員のスキルアップ等を行い、支所機能の充実を図ります。

●普通交付税の合併算定替えと1本算定の交付見込額 単位：億円

項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
合併算定替えによる特例加算	23.6	19.9	14.7	10.2	6.5	3.9	1.3	0.0
一本算定	100.5	106.5	111.1	111.6	110.3	109.8	110.3	110.3
小計(合併算定後の交付額)	124.1	126.4	125.8	121.8	116.8	113.7	111.6	110.3
合併により広範囲となったことによる算定見直し	H26～支所経費	2.6	5.3	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7
	H27～消防費、清掃費、離島経費		0.8	1.6	2.4	2.4	2.4	2.4
	H28～保健衛生費、徴税費			0.8	1.8	2.6	2.6	2.6
	H29～農業行政費、その他土木費等				0.4	0.7	1.0	1.0
	H30～商工行政費等					0.8	1.3	1.8
小計	2.6	6.1	10.1	12.3	14.2	15.0	15.5	15.5

※合併算定替えによる特例加算がH27年から段階的に縮減されるのを緩和するために、支所経費等の見直しが行われています。

(財政課資料より鈴木和雄議員作成)

庭野前議長に感謝状

全国市議会議長会評議員



庭野政義前議長が全国市議会議長会の評議員を務められ、このたび退任されました。去る6月11日開催の第95回全国市議会議長会定期総会において感謝状の贈呈を受けました。

永年勤続表彰



去る4月9日に開催された第94回北信越市議会議長会定期総会、及び6月11日に開催された第95回全国市議会議長会定期総会において、永年勤続表彰を受けました。

(左から)

◎在職15年以上
安 保 寿 隆 議員

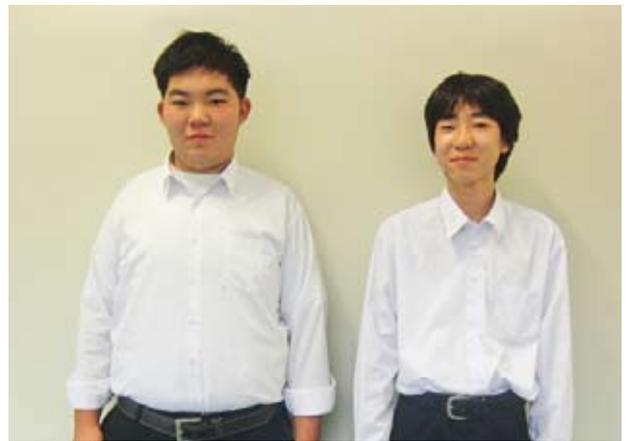
◎在職10年以上

藤 卷 誠 議員
遠 田 延 雄 議員
吉 村 重 敏 議員
小 林 均 議員

表紙写真について

今月号の表紙は松代高校写真部の作品です。

松代高校写真部



現在、写真部は2年生2名で活動しています。毎回クラブ活動に参加し、地味な仕事も進んでくれる人の入部をお待ちしています。

議会だより 編集委員会

議会活動を
お知らせします

議会だより編集委員会も新たにスタートしました。三つ（総務文教・産業建設・厚生）の常任委員会から2人ずつ選ばれています。これからの2年間よろしくお願ひします。

■委員長 水落 静子
■副委員長 富井 高志
■委員 樋口 利明
大嶋 由紀子
滝沢 繁
星名 大輔

あとがき

編集委員会も改選となりました。よろしくお願ひします。議会だよりは、議員の一般質問、予算や決算の討論、議決事項など議会や議員の活動の一端を広く市民の皆さまへお知らせする機関誌です。

この夏、児童センター「めぐらんど」、来年には念願の県立看護専門学校、新博物館がオープンします。それら施設の活用と、そして第2次学区適正化についての話し合いは十日町の重大事項です。編集委員に限らず市議会議員は、市民の皆さんのお声をお聞きしながら活動しています。議会の傍聴にお越しください。(水落静子)

発行：新潟県十日町市議会
編集：議会だより編集委員会
〒948-8501
十日町市千歳町3丁目3番地
TEL 025-757-3119
FAX 025-757-5999
E-mail: t-gikai@city.tokamachi.lg.jp